

平成 29 年度第 2 回大阪府医療対策協議会議事概要

日時：平成 29 年度 9 月 8 日（金曜日）14 時 00 分から 15 時 00 分

場所：大阪赤十字会館 4 階 401 会議室

【議事概要】

◆ 議題「新たな専門医制度について」

○ 制度の開始にあたり、

「本府の医療提供体制に悪影響を与えることがないか」という観点で、議論した。

（意見）

- ・ 日本専門医機構からの資料提供は不十分である。議論に必要なデータ提供を専門医機構に求めるべき。
- ・ 定員上限は未だに提供されていないが、定員については機構と学会が調整をされてきたものであり、日本専門医機構がしっかりとした審査をしているはず。
- ・ 定員は、府が関与するのではなく、機構と学会が責任をもって調整するべき。
- ・ 専攻医の募集期日や基幹施設・連携施設、研修を希望する医師の混乱による診療業務への影響を避けなければならない。
- ・ データでは、明らかな悪影響があるとまでは言えないが、提供された情報の範囲の意見である旨を付して府の意見を言うべき。

◆ 検討結果

- 提供された情報の範囲では、府の医療に悪影響がある点は認めない。
- 専門医機構に回答する時には、「提供された情報の範囲」という注釈をつける。
- 併せて、必要な正確な情報を速やかに提供するよう意見を付す。

◆ 報告事項「臨床研修医の最終配分調整の結果に係る各病院への通知について」

- 臨床研修医の最終配分を希望した医療機関に対し、評価項目と評価点を通知した。
なお、医師不足地域にある医療機関に対しては、通知と併せて電話し、評価項目等について詳細の説明を実施した。
その結果、各病院からは「頑張っていく方向が分かった」等、非常に好評であった。
 - ・ 各病院が頑張って、全体の研修環境が良くなることが望ましい。

◆ その他の意見

- 大阪母子医療センターによる新生児搬送用保育器のクラウドファンディングについて、必要備品は寄付ではなく大阪府として手立てすべきとの意見があった。